

## 総合的なサービスの提供 (342)

保健福祉施設の充実 (254)

交通手段を持たない人への支援 (222)

地域での見守り・支援の充実 (185)

生活支援サービスの充実 (157)

高齢者同士が集まる場の提供 (144)

バリアフリー施設の整備 (59)

高齢者の社会参加の機会の充実 (58)

その他 (13)

高齢者福祉のための重要事項 (回答数)

## 安心して働ける雇用環境の充実 (488)

地元企業の経営強化への支援 (198)

空き家のあっせんなど、住宅の活用 (130)

新規就農者などへの公的支援 (129)

若者向け住宅の整備 (96)

インターネット環境の充実 (82)

地域資源を生かしたまちの活性化 (70)

その他 (14)

若者の移住・定住のための重要事項 (回答数)

## 雇用環境の整備 (306)

子育て世代の生活利便性の向上 (180)

母子保健・乳幼児医療の充実 (180)

保育時間延長など支援策の充実 (179)

経済的負担の軽減・公的支援 (166)

特色ある教育の充実 (89)

地域での子育て体制の充実 (83)

その他 (20)

少子化対策のための重要事項 (回答数)

キーワードは「雇用」。生活の安定望む声多く

このアンケートでは、これからの日野町が早急に取り組まなければならない「高齢者福祉」「若者の移住・定住」「少子化対策」についても聞きました。

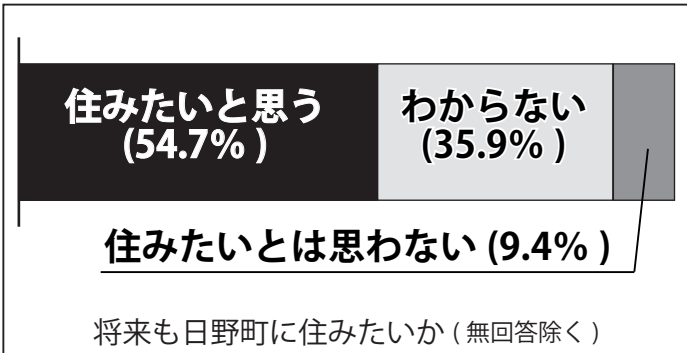
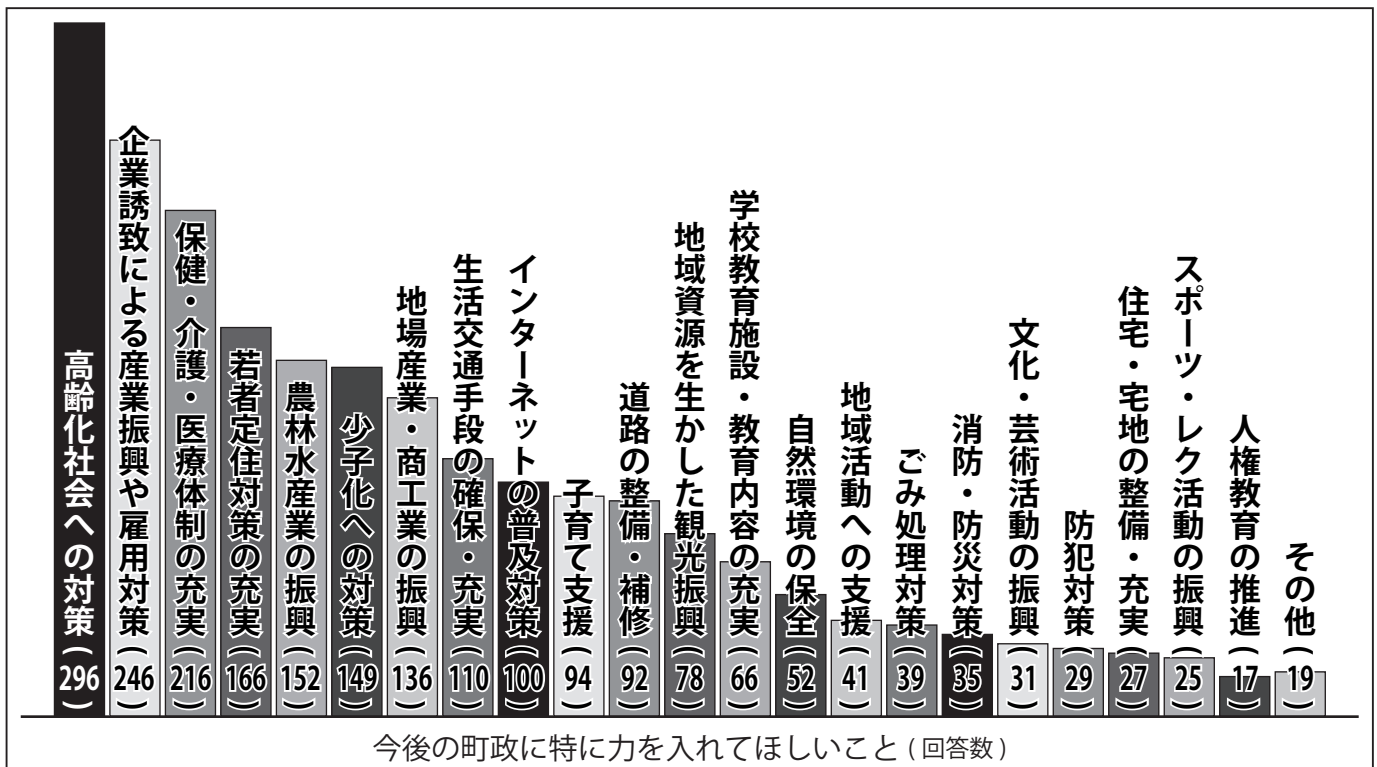
特徴的だったのは、「若者対策」「少子化対策」ともに、

雇用環境の充実が最も重要と答えた人の数が圧倒的に多かったことです。

長引く世界的な不況などにより、町内や近隣の町の事業者が相次いで廃業し、この町で暮らしたいと願いながらも働く場所がない、という状況

が以前にも増して存在しています。

人口が減少し続けている中で、次の時代を担う若者が希望を持って暮らせるまちづくりを町は目指しています。そうした若者が安心して生活し、子育てをしていくためには、「ここに住みたい」と思える魅力あるまちをつくらなければなりません。



### 町政の問題・課題が浮き彫りに

「今後の町政に特に力を入れてほしいこと」の質問については、高齢化社会への対策に次いで、ここでも雇用対策を望む声が非常に多いことがわかります。

このほか、若者定住や少子化対策、保健・介護・医療体制の充実への回答が多く、町

が抱える問題がそのまま反映された結果になりました。

「これからも住みたい」と思えるまちを

さらに、「将来も日野町に住みたいか」の質問では、およそ55%の人が「住みたいと思う」と答えています。

その理由として、「生まれ育った町だから」というもの

が多くありましたが、一方で「もう高齢なのでここに住むしかない」「他に行き場がない」という答えも目立ちました。

町では、今回のアンケート調査の結果をふまえ、現在の計画の達成状況や社会情勢などを考慮しながら、皆さんが「これからも住み続けたいまち」を目指して、新しい計画づくりに生かしていきます。

## 自由回答での意見 (抜粋)

- 人口減少が顕著な日野町。若者定住のために、住宅はもちろん、企業誘致など雇用の確保を。
- アンケートの結果をふまえ、次のステップへ進んでほしい。アンケートが無駄にならないよう、前向きに一步步計画を実行してほしい。
- 町職員が積極的に地域とかわかり、出かけてほしい。
- アンケート用紙がなぜ1戸に1枚なのか。各世代の意見を聞く必要があると思う。全員で考える町政を。
- 憩いの施設などを設けるなど、町外からもリフレッシュできる場として町の自然を生かし、集客することが必要。
- 自治会活動の支援など、住民の活力が発揮できるような町政にしてほしい。
- この町が好きだが、年々不便さを感じるようになった。
- 住民主導のまちづくりは良いが、主導する人材不足の集落をどうするかを考えないとそこに向かえない。